

3月11日 融合研究集会：絶対応力と断層強度 ショートプログラム

10:00-10:05	趣旨説明 (飯尾能久)		
東北沖プレート境界の絶対応力レベル 座長：深畑幸俊			
10:05-10:10	はじめに (深畑幸俊)		
10:10-10:40	深畑 幸俊	A02	京都大学防災研究所
東北沖プレート境界の強度：地震時の応力解放および力学モデルからの推定			
10:40-11:10	松澤 暢	A01	東北大学大学院理学研究科
東北地方太平洋沖のプレート境界が弱いことの証拠			
11:10-11:55	清水 以知子	B02	東京大学大学院理学系研究科
東北沖プレート境界断層はそんなに弱いのか			
11:55-12:45	討論		
12:45-13:45	昼食		
断層強度と滑りモデル 座長：野田博之			
13:45-14:15	野田 博之	C01	海洋研究開発機構
現実的な断層構成則を用いた地震サイクルモデルの現状と展望			
14:15-14:45	安藤 亮輔	C01	東京大学大学院理学系研究科
内陸断層のレオロジーと余効滑り，余震活動の時間変化			
14:45-15:00	飯尾能久	B03	京都大学防災研究所
鳥取県西部地震断層の深部延長における非弾性変形			
15:00-15:30	討論		
15:30-15:45	休憩		
断層は地震時以外に非弾性変形するか？ 座長：清水以知子			
15:45-16:15	廣野 哲朗	B01	大阪大学大学院理学研究科
断層ガウジにおける非弾性変形の可能性			
16:15-16:30	竹下徹(代理 廣野 哲朗)	B01	北海道大学大学院理学研究院
断層帯の発展について最近考えたこと			
16:30-17:00	松本 聡	B01	九州大学大学院理学研究院
九州MTLで剪断変形によって応力が解放されている可能性について			
17:00-17:30	討論		
17:30-18:00	融合研究に向けた討論		